

テーマ：私たちの活動報告

「南多摩新聞号外第2報 ～平成28年度の南多摩病院の取り組み～」

医療法人社団永生会南多摩病院リハビリテーション科  
三輪真紀 清水愛璃 倉田考徳 井出 大

当院は西八王子駅前に位置する一般病床170床からなる2次救急指定病院です。今年度は救急棟7階に本拠地を移し5年目を迎え、更なる体制強化と質の向上に努めた1年でした。

今年度は理学療法士1名、作業療法士2名を増員し、理学療法士24名、作業療法士8名、言語聴覚士5名、助手1名、事務1名の計39名体制で取り組んできました。100床換算人員数では、全国急性期病院の平均が理学療法士では2.8名、作業療法士1.3名、言語聴覚士0.6名のところ、当院では理学療法士14.12名（5倍）作業療法士4.7名（3.6倍）言語聴覚士2.9名（4.8倍）の人員体制で活動してきました。

私たちがリハビリテーションを提供している対象疾患の内訳はがん1.8%（胃癌、大腸癌）、筋骨格系36%（大腿骨頸部骨折、圧迫骨折、上腕骨骨折、肩関節周囲炎、脊柱管狭窄症など）、呼吸器18.5%（誤嚥性肺炎、細菌性肺炎、気管支喘息）、心大血管系4.3%（急性心筋梗塞など）、脳血管系3.5%（脳梗塞、脳出血など）、廃用症候群36%となっています。

患者様が安心して入院生活をおくっていただくため、病棟担当制にて内科病棟、外科病棟、整形外科・循環器・泌尿器科病棟の3つのチームに分かれています。充実のスタッフ数で、きめ細やかなリハビリを提供いたします。退院後も効果的にリハビリを継続して頂くため、外来リハビリも同じセラピストが担当しています。

今年度上半期の月平均リハビリテーション実施延べ患者数は入院では3952.1名で前年と比較し299.3名の減少でしたが、外来では1082名で前年と比較すると178.2名の増加となっていました。さらに、皆様の信頼のおかげで、6年前と比較し今年度上半期月平均の入院患者数は2.4倍、外来患者は2倍と、当院のリハビリを選んでくださる方が年々増えています。

リハビリテーションの効果を判定する指標として機能的自立度評価法(FIM)があります。これは日常生活動作能力について126点を満点として採点するものですが、この合計点が1点アップするごとに介護時間が1.6分減ると言われています。当院における改善は少ない在院日数のなかでの患者様の頑張りが結果に結びついたものです。この改善を支えるために、全病棟との週1回の症例検討と整形外科と循環器科と科別の症例検討も実践しています。私たちは医療介護連携をさらに進めるため、全入院患者様に対して平日は毎日、多職種でのカンファレンスを実施しています。教育・研究では最新の知見を取り入れるため、全スタッフにて上半期のみで109日間の外部研修と32件の新人研修を実践し、学会発表は18件を行いました。今後とも皆様の生活の支えになれるよう、努力していきます。